

益子町

概要版

地域公共交通網形成計画

計画の趣旨

益子町の公共交通は現在、真岡鐵道、東野交通路線バス及び3事業者によるタクシーの運行に加え、高齢化が加速する中で喫緊に取り組むべき課題である交通弱者の移動手段や、公共交通空白地域の生活交通手段を確保するため、平成24年10月から運行を開始したデマンドタクシー「ひまわり号」が運行しています。

現在ではデマンドタクシー「ひまわり号」は高齢者の移動手段の一つとして、日常生活には欠くことができない商店や医療機関などへの移動に多く利用されています。

一方、デマンドタクシー利用者については、当初計画の利用者数の目標値を下回っている状況でもあります。

そこで、今後更なる高齢化社会に向け、高齢者の日常生活の移動手段として利用されているデマンドタクシーの持続可能な運行システムの検討と、町内の他の地域公共交通との連携を図り、まちづくりと連動した地域公共交通ネットワークの構築を目指し、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく制度支援が活用できるよう、「益子町地域公共交通網形成計画」を策定しました。

計画期間

本計画は、公共交通を取り巻く環境の変化に対応するため、平成29年度から平成33年度のまでの5年間とします。

公共交通をとりまく益子町のまちづくりの方向性

益子町の公共交通に関わる計画（総合計画・都市計画マスタープラン等）から、今後のまちづくりの方向性を整理すると以下の通りとなります。

- 地域を支える、だれもが安全に移動できるネットワークを形成・維持するための財政支援が必要
- 暮らしやすくコンパクトな都市づくりを目指すため、拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化が必要
- まちづくりとの連携（産業や観光の振興、環境に優しい都市）を図るための手段として、公共交通の利用促進が必要
- 利便性の促進に向けた複数の交通手段間の連携や交通結節点などの整備が必要

益子町の地域公共交通が目指すべき方向性

① 交通弱者がいきいきと生活するため、公共交通ネットワークを維持する

- ・高齢社会の急速な進展に伴い自動車の運転が困難な交通弱者のさらなる増大が懸念されます。
- ・日常生活に必要な「通院」や「買い物」の居住地区以外への移動が必要です。
- ・デマンドタクシー「ひまわり号」の利用者は年々増加しており、地域の足として不可欠な存在となっています。

表 デマンドタクシー利用者数

平成 24 年度	3,707 人(半年間)
平成 25 年度	11,057 人
平成 26 年度	11,997 人
平成 27 年度	12,159 人

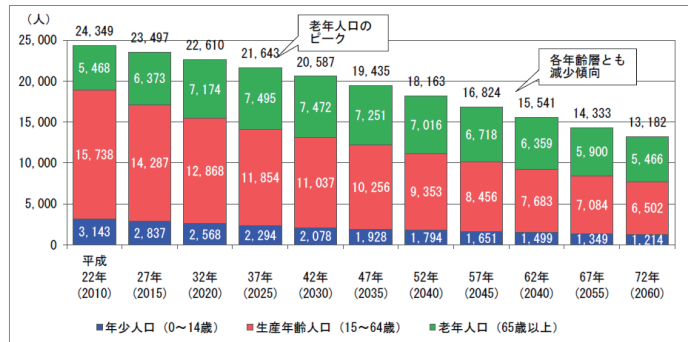


図 人口の推移：益子町人口ビジョン

高齢社会のさらなる進展が想定される将来に向けて、高齢者等の交通弱者が日常生活に不便することなくいきいきと生活できるよう、今後も、公共交通ネットワークの維持を図っていく必要があります。

② 日常生活に必要な公共交通を維持・確保しつつ改善する

- ・基幹軸として利用されている「真岡鐵道」や「東野バス」は近年は利用者が減少しています。
- ・小学校の広域化した学区では「スクールバス」が児童の足として確保されています。
- ・町内のタクシーは様々な用途に対応できる交通手段として利用されています。

これまで地域の日常生活の足として利用されてきた公共交通を維持、確保しつつ、利用者の利便性が高まるよう改善していく必要があります。

③ 観光や業務等における広域的な移動を確保する

- ・首都圏から益子町への観光客の交通手段として「関東やきものライナー」が運行しています。
- ・新たな観光交流拠点「道の駅ましこ」への公共交通によるアクセスは「デマンドタクシー」、「タクシー」、「レンタサイクル」に限定されています。

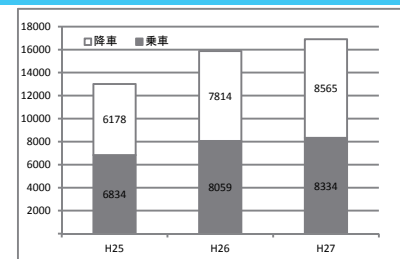


図 益子町内関東やきものライナー乗降者数

観光や業務等の広域的な移動が必要となる利用者に対する移動手段の確保に努めていく必要があります。

④ 公共交通が利用しやすい環境整備を推進する

- ・複数の交通手段を乗り継いで目的地へ移動する際、乗り継ぎ環境が整備されていない箇所が見られます。（駅とバス停間の距離が長い、ベンチが無いなど）
- ・デマンドタクシーの利用者の中には、運行時間帯や運行エリアの改善要望が見受けられるなど、利用しやすい運行システムに向けた改善要望が見られます。

利用者にとって公共交通が利用しやすい環境整備を進めていく必要があります。

⑤ 多様な主体による利用促進に向けた取組を進める

- 利用者の減少が続く「真岡鐵道」や「東野バス」では、利用促進を図るための様々な取り組みが行われていますが、取組主体が運行事業者に限られている状況です。
- デマンドタクシー利用者は年々増加している一方で、平成27年度の利用実績は目標値（63人/日）に到達せず、利用者の増加を図っていかねばなりません。
- デマンドタクシーの満足度は高い状況ですが、今後は更なる利用促進に向けた取り組みを進めていかなくてはなりません。

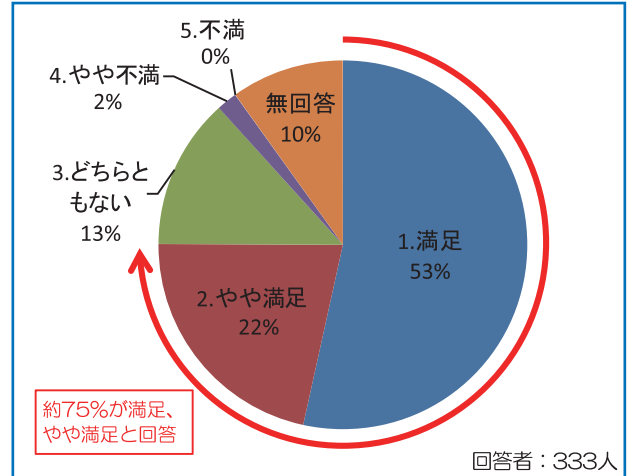


図 デマンドタクシーの満足度（利用者アンケート結果）

地域内の公共交通に関わる多様な主体が連携しながら、利用促進に向けた取組を進めていく必要があります。

基本方針

① だれもがいきいきと生活できる移動手段の維持・確保

- 益子町内全域において、交通弱者の足となるデマンドタクシー等の地域公共交通の持続的な運行を確保します。

② 通勤・通学等の日常生活の足となる公共交通ネットワークの形成

- 町内外における日常生活における通勤、通学時等の基幹軸（真岡鐵道、路線バス）の利便性向上を図ります。

③ まちづくりや観光施設と連携したネットワークの実現

- まちづくりや観光施設と連携した各公共交通の機能強化を図ります。

④ 利便性・快適性の高い公共交通ネットワークの実現

- 駅やバス停等の交通結節点強化や乗り継ぎ時の利便性、料金負担の低減を図ります。

⑤ 人や環境にやさしい公共交通体系の実現

- 公共交通をサービス産業と位置づけてマナー向上を図るとともに、自動車に過度に頼った移動形態からの脱却を図り、公共交通の利用を促進させます。

目標と施策

目標 1 いきいきと生活する高齢者の増加

施策（1）デマンドタクシーの運行継続

より利用しやすい運行体制に見直しながら「デマンドタクシーひまわり号」の運行を継続していきます。

施策（2）免許返納者への支援強化

町で実施している「高齢者運転免許証自主返納奨励事業」、ならびにタクシーの「免許返納者割引」についてPRを強化します。

目標 2 多様な主体の移動環境の向上

施策（3）デマンドタクシー運行体制見直し

運行エリア、運行時間帯など利用者のニーズに合った運行体制への見直しを継続的にを行います。

施策（4）道の駅へのアクセス向上

観光交流拠点「道の駅ましこ」への公共交通によるアクセスを検討します。

施策（5）乗り継ぎ利便性の向上

駅や利用者が多いバス停などについては、利用者の乗り継ぎ利便性の高まる方策を検討します。

施策（6）観光客への公共交通の充実

「益子の陶器市」開催時に運行している巡回バスの機能向上、タクシーとの連携強化、情報提供の充実を図ります。

目標 3 公共交通の利用促進

施策（7）各種割引サービス導入

真岡鐵道、路線バス等からデマンドタクシーへの乗り継ぎ券、高齢者利用券、回数券など各種割引サービス券の導入を検討します。

施策（8）公共交通利用に関する教育・啓発活動

公共交通の乗り方教室、エコ通勤の提案等、行政や利用者との連携による利用促進に向けた取り組みを実施します。

目標 4 公共交通利用者満足度の向上

施策（9）サービス水準の向上

運行に係るサービス目標を定め、常にサービスの維持、改善を図っていきます。

施策（10）満足度調査等の実施

定期的に公共交通内や乗降時にアンケート調査を実施し、サービスの見直しを図ります。

益子町地域公共交通網形成計画 概要版

発行：益子町地域公共交通会議（益子町企画課内）
〒321-4293 栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地
電話：0285-72-8828 FAX：0285-72-7601

平成29年3月